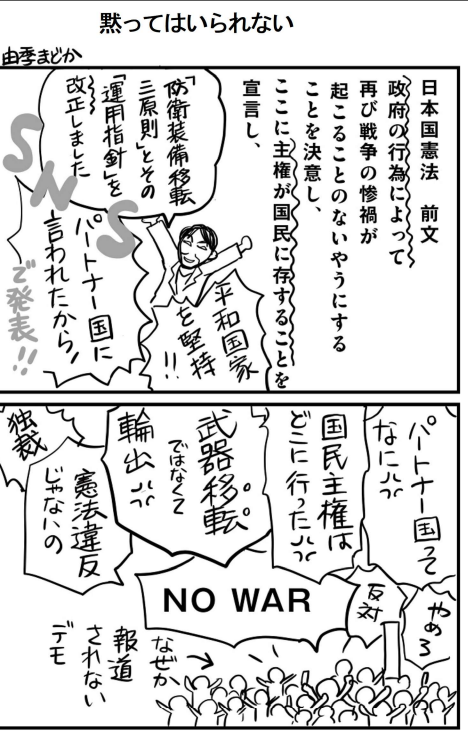


あなたの一步で世界は変わる  
つなごう！憲法1000人集会  
**5.3山梨憲法1000人集会**  
5月3日(日) 11時~12時30分  
甲府駅北口よっちゃばれ広場



ご意見・お問い合わせは  
☞ 平和委員会事務局  
090-1213-1981 (坂上)  
☞ 平和新聞山梨版編集部  
090-6313-7762 (服部)



# # 平和憲法を守る0408 山梨

## 国会前行動に連帯 甲府に140人、富士吉田に50人！ スマホ、タブレット手に集合 / 若者も飛び入り

参加のしかた自由。ペンライト持参の憲法改悪や戦争反対の意思をもつ若者を中心に、多くの人が甲府駅前前に集まりました。3月25日に国会正門前に2万4千人が集結したデモから始まったスタンディングが、SNS発信が巧みな若者達の拡散で全国に運動が広がりました。

甲府駅前では、4月8日19時30分から20時30分まで「ペンライト」と「戦争反対」「憲法9条守れ」などのプラカードをもって約140人がスタンディング。富士吉田でも同日午後50人近くの市民がスタンディング。

全国では、オンライン視聴7万人、スタンディング等は全47都道府県で160カ所以上、約4万9千人参加の緊急行動が行われました。

甲府駅前で、通りがかりに若者(男性)3名が「何をやってるんですか?」「戦争になったら困る、やりたくない」と用意されていたプラカードの中から気に入ったものを選んで緊急参加し、「ちゃんと社会のことを真面目に考えています」とコメントしました。また女子高校生数人は自分たちでプラカードをアレンジして、ペンライトをもって笑顔で生き生きと終了までスタンディングしていました。集会の場が若者の自由な空気につつまれました。

今回のデモスタンディングの呼びかけは、既存の運動組織に加え、戦争反対や憲法9条を守りたいと考える個人やグループでした。SNSで拡散された情報を見て参加したという人が目立ちました。終了時に、集会を呼びかけた方から、予



想以上の参加者数に感謝の発言がありました。

今回の動きは集会のあり方への変化の一つであると思われまふ。大きな行動のうねりが全国で起こっている今、一時的なものなのか、新たな運動のはじまりなのか山梨県平和委員会として今後も報道していきたいと思ひます。(河村ゆかり)

### 『KAICAN』スタート

4月5日、『KAICAN』核なき世界のたのめ山梨県民の会」設立総会が韮崎市で開催されました。

冒頭、本紙で2回に亘って紹介した窪田由和子代表から、KAICANのこれまでの歩みが報告され、続いて記念講演に移りました。講師は、山梨県北杜市で在宅ホスピス研究所パリアンを運営している川越厚さん。川越さんは、山梨にいられて6年目で、あまり名前を知られていませんが、在宅ホスピスケアの第一人者です。

川越さんの父研三さんは陸軍中尉として広島に配属されているときに被爆。研三さんは被爆のことを語りなかつた、というより語れなかつた。川越さんは、山梨に来てすぐ、広島

にお父様の跡を辿る旅に出ます。計5回の旅を終えて「ヒロシマ遡上の旅 父に捧げるレクイエム」という著書を著します。講演はお父さんの気持ちを推し量りながら、核兵器を告発するものでした。

総会の最後に、①知る活動、②変える活動(核兵器禁止条約批准の求める)、③つながる、を活動の柱とするKAICANのコンセプト書が承認され設立が確認



されました。(倉嶋清次)

毎月15日は 沖繩連帯行動の日

72年5月15日の沖繩復帰にちなみ、山梨県平和委員会では、毎月15日を沖繩連帯行動の日として、甲府駅前南口で12時半から1時まで、スタンディング&スピーチを行っています。国土面積の約0.6%の沖繩に、全国の米軍専用施設の約70.3%が集中している現実、米軍基地に起因する事故や環境汚染など過重な基地負担が強いられ、苦難の日々は続いています。「ノーモア沖繩戦・やまなしの会」などとも連携し、広く他団体や個人にも働きかけ共に行動することの必要性を感じる日々です。

\* \* \*

4月15日に経験したエピソードを紹介します。

☞「平和委員会は毎月このような形で訴えていたのですね 知らなかつた」と飛び入りで横断幕を手にしてくださった方がいました。

☞3月に起きた辺野古沖での痛ましい事故をきっかけに、「平和への訴えが、ややもすると攻撃対象になってしまうのは許せませんよ」と言ってくださる方もいて、チラシを受け取る方との対話も増えました。

☞エスカレーターを降りてきた若者たちから「自分たちも配るのを手伝いますよ」と言いチラシの束を受け取り、手伝ってくれるということもありました。

☞校外学習で中央市から来ていた中学生は「沖繩の事をもっと勉強します、教えてください」と。対話することの意義を感じた一コマでした。(服部 町子)

トランプが世界中を混乱させている。国連憲章を無視し、核兵器をふりかざし、イランへのミサイル攻撃。指導者を殺害し、軍事施設ばかりか学校も住宅も病院も空爆、何千人もの市民を殺し、石油製造施設も攻撃、石油危機をもたらした。それらが映像で映し出され不安を広げている。テレビ画面には「絶望感」がだだよう。▼絶望を希望に変える道はないのか。ある。世界中の人々の「戦争やめる」の声だ。その典型がアメリカで示された「no KINKS」のデモだ。先月28日、全米各地で、国際法違反の横暴を繰り返すトランプの打倒目指した行動だ。全米50州3300カ所、少なくとも800万人が参加。米史上最大規模だ。主催団体の「国民はトランプ政権の横暴や違法な戦争にうんざりだ。我々は変化を待つのでなく、変化を起こす」との言葉に勇気をもった。

▼日本でも全国で「憲法壊すな」「さあ行こう、平和の道」とペンライトをかざした市民の行動が日に日に膨れあがっている。これが希望だ。まずは声をあげよう。(菅)

甲州市

市内全小中学校で取り組んだ平和学習

甲州市制20周年、そして戦後80年。大きな節目を迎えた2025年、甲州市の全小中学校16校が2つのプロジェクトに取り組みました。

各校はそれぞれ地域の特性や在任している方々の情報を得て独自の取り組みがされました。先の大戦の貴重な資料である甲州市にある「わだつみ平和文庫」や地域に残っている防空壕、戦争遺跡、戦没者の慰霊碑などを見学し、また戦争当時を知る高齢者のお話を聴くなど、児童生徒たちが自身で調査活動を行いました。戦争当時の食事・生活の様子を実際に体験した市民を探す

のは困難なことだったそうです。現代の子がこれまでも知りえなかったものや様々に学ぶ機会だったことが窺える映写会でした。

取り組んだ児童・生徒の素直な感想が映像の中で語られています。●世界は今ほんとうに平和といえるのかな？ ●平和の反対は戦争？ つまりは不平等ということ？ ●力で解決するのでなく、やっぱり話し合いでしょ ●小さなやさしさ、それが小さな平和

子や孫の通う学校の取り組みを見る保護者だけでなく、多くの市民が視聴し、甲州市内の各校の様子がわかり素晴らしいなどの感想が寄せられました。市内全域に放送することも考えたそうです。●個人情報の漏洩、映像権等の諸問題もあり一日だけの限定されたものにならないものを得なかつたのは残念です。(服部町子)

集まって大きな平和になればいいね ●解決できるのかな？ 解決しなくては！ ●平和はやたらと来るものじゃないよ...戦争しないで、平和を作るんだよ...

その事に疑問を感じない環境にいたことを認識しました。その頃東京都知事選挙があり、女性候補者の主張を聞いて、支持者の主張を聞いて、支持したいと思い、ひとりスタンディングを始めました。恫喝されて体が震えたとけれど、その場に立ち続けました。それは、自分のなかにある政治への怒りでした。攻撃されて運動を諦めた人がいました。自分の主張を訴えることが民主主義の確立に繋がると思っています。ゆっくり自分の活動を考えたいと思うようになり、富士山の見えるこの地に来ました。

今回は、「0408 デモスタンディング」で出会ったペンネーム「はるよし」さんです。

デモなどの社会に向けた活動をするようになったきっかけは

山梨に移住する前は東京でジェンダーカフェに参加し、声を上げるという事を始めました。フェミニズム運動に出会ったことから、家父長制によって女性が社会の中で抑圧されてきたことを知り、



山梨の平和人

現在の活動は山梨はSNS活用が盛ん

今後は活動目標は現政権を退陣させるためにスタンディングを続けていきます。立っている事は自分自身の意思表示であり、自分の言いたいことを主張する姿を子供達に示していきたい。もう一つは、ジェンダーカフェを地元で開いたりしながら、自分のやりたい事をSNS発信できる人を増やしていきたいと思っています。(河村ゆかり)

平成26年定期大会と交流会 日時 7月4日(土) 10時から 場所 南アルプス市 樹園 午前中は総会と学習会。その後交流会でバーベキュー大会になります。みんなで参加しよう！ 宿泊も可です。 みんな来てね！ お申し込みは 090-1213-1981 (坂上) まで

平和大行進 5月11日スタート

今年の平和大行進は、暑さ対策のため、五月十一日スタートです。初日は北杜市須玉からで、最終日は上野原市役所です。長野県と東京都の引き継ぎは例年通り七月に行います。さわやかな五月の風の中、平和を願って一歩でも二歩でも一緒に歩きましょう。日程表を掲載します。(一部車で移動するところもあります。)

2026年国民平和行進山梨県内行進日程表

Table with 3 columns: 月日(曜), 通過場所, 予定時間. It lists the route and timing for the 2026 National Peace March in Yamanashi Prefecture, starting on May 11th and ending on May 21st.

沖縄米海兵隊による危険で約束違反の実弾射撃訓練を止めよ! 抗議集会 5月8日(金)12時 甲府駅南口 監視活動 5月18~27日 山中湖畔 主管:北富士共闘会議

5月18日から27日まで、北富士演習場で、沖縄米海兵隊による実弾射撃訓練が行われます。今回の訓練はこれまでの155ミリ榴弾砲訓練に加え、防衛訓練として60ミリ迫撃砲、口ケットランチャー、対戦車用無反動砲など4種類の火器を使用するとしています。今回の訓練内容の拡大は日米合意に反するものであり、移転訓練の質的拡大です。北富士共闘会議は、4月27日、長崎知事に「移転訓練受け入れの前提である「同質同量」に反する今回の訓練については中止を求めるとともに、5月18日から27日まで山中湖畔で監視活動を実施します。戦争止めよ、軍拡を止めよ、としっかり監視しましょう。